

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	5	事業名	八千代市公共下水道事業		路線又は箇所名等		印旛処理区		
事業所管課		上下水道局 建設課			事業主体		八千代市		
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度			工事着手年度	昭和47年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B / C	2.3	総費用	2,142億円	総便益	5,007億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和49年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	2,780ha	2,015ha	1,780ha
処理人口	176,640人	162,700人	173,000人
終末処理場の処理能力			
事業費	536億円	417億円	367億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画2,015haに対して、1,780haを整備し、整備率は88%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	接続率は98%である。
地元情勢等	八千代市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

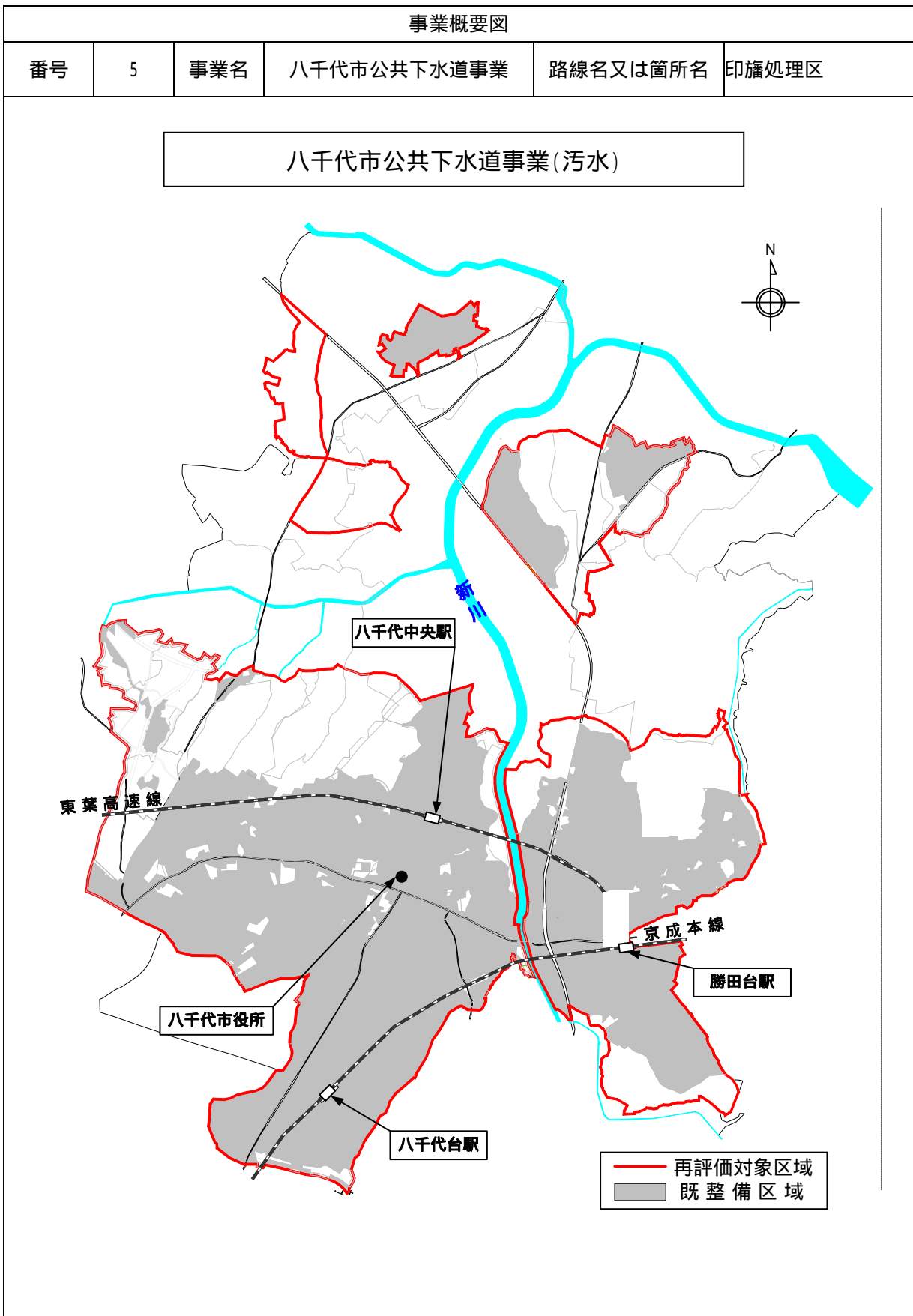
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

八千代市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当該事業を継続していく方針です。



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	5	事業名	八千代市公共下水道事業	路線又は箇所名等	印旛処理区	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度		工事着手年度	昭和47年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和49年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の10年後の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		531億円	338億円			
用地取得面積						
供用面積(延長)		2,780ha	1,675ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和49年度	対応方針	継続	
B / C	2.3	総費用	2,142億円	総便益	5,007億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		536億円	367億円			
用地取得面積						
供用面積(延長)		2,780ha	1,780ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	5	事業名	八千代市公共下水道事業		路線又は箇所名等		八千代排水区他		
事業所管課		上下水道局 建設課			事業主体		八千代市		
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度			工事着手年度	昭和47年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成48年度			
費用便益比 B / C	1.4 ~ 2.6	総費用	543億円	総便益	1,213億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和47年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
排水区域面積	1,661ha	1,435ha	608ha
処理人口			
終末処理場の処理能力			
事業費	388億円	349億円	165億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画1,435haに対して、608haを整備し、整備率が42%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	
地元情勢等	八千代市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

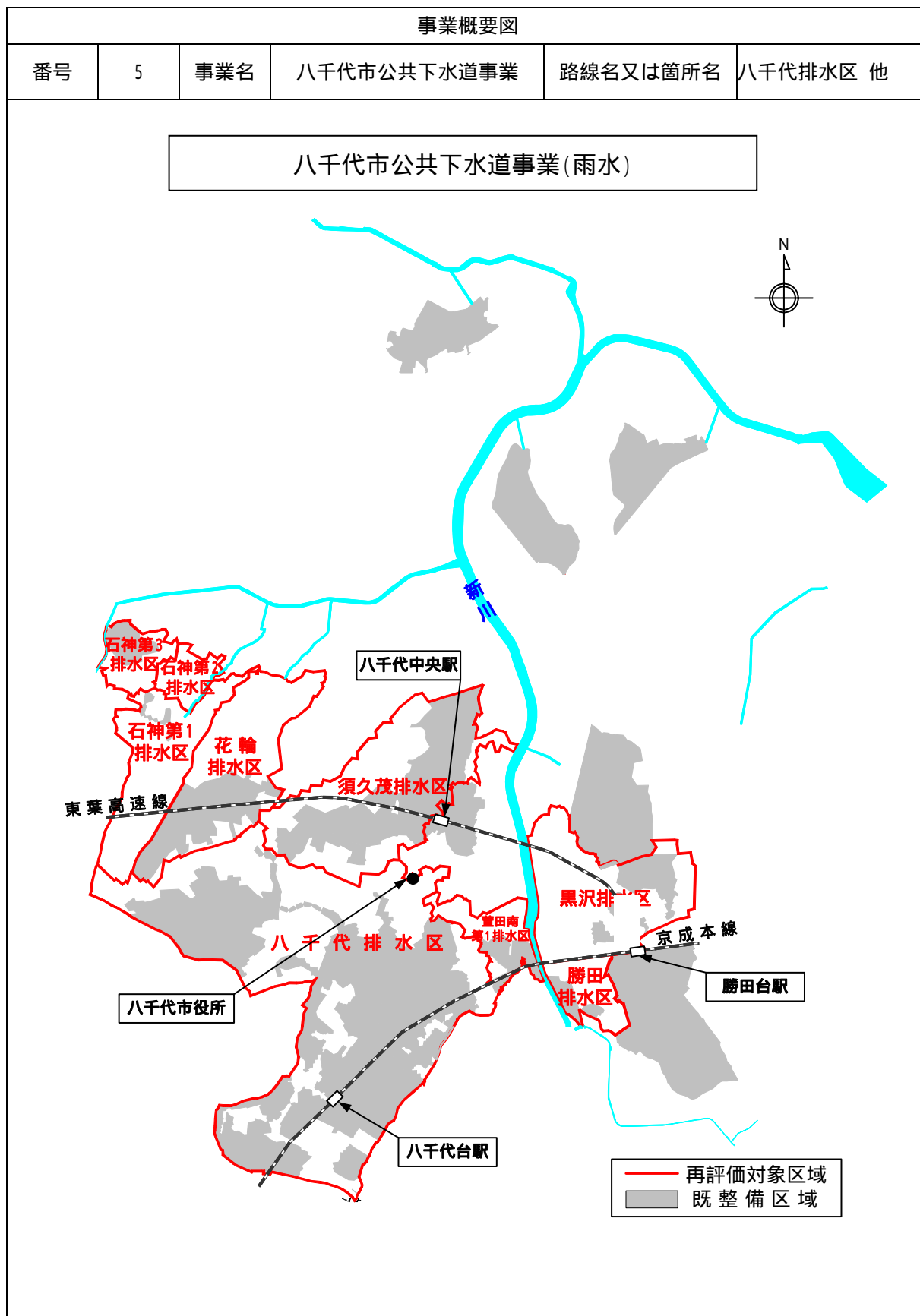
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特 にない。
自然環境条件	
計画変更の有無及びその 程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用により、コスト縮減に努めている。
代替案	

【対応方針(案)】

八千代市公共下水道事業(雨水)は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針
です。



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	5	事業名	八千代市公共下水道事業	路線又は箇所名等	八千代排水区他	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度		工事着手年度	昭和47年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和47年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定10年後の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		375億円	126億円			
用地取得面積						
供用面積(延長)		1,661ha	535ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和47年度	対応方針	継続	
B / C	1.4 ~ 2.6	総費用	543億円	総便益	1,213億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		388億円	165億円			
用地取得面積						
供用面積(延長)		1,661ha	608ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、主に幹線管渠の建設を進めており、事業は進展している。					